

議会だより

3月定例会 No.11
平成20年5月1日

し
Shika
か

	ページ
新年度予算 新しいまちづくりを 本格化 ……	2
原発2号機 運転再開 を了承 ……	10
原発運転再開 機は熟したのでは (一般質問) ……	11
志賀町から元気を (直撃インタビュー) ……	15



下甘田保育園お花見 花よりだんご？

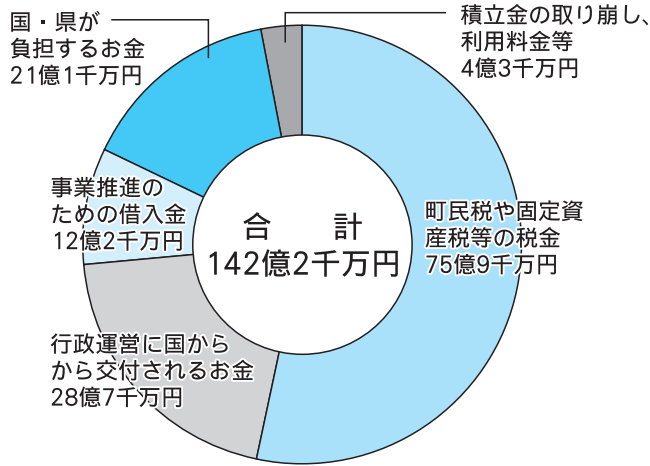
新年度予算

一般会計 142億円

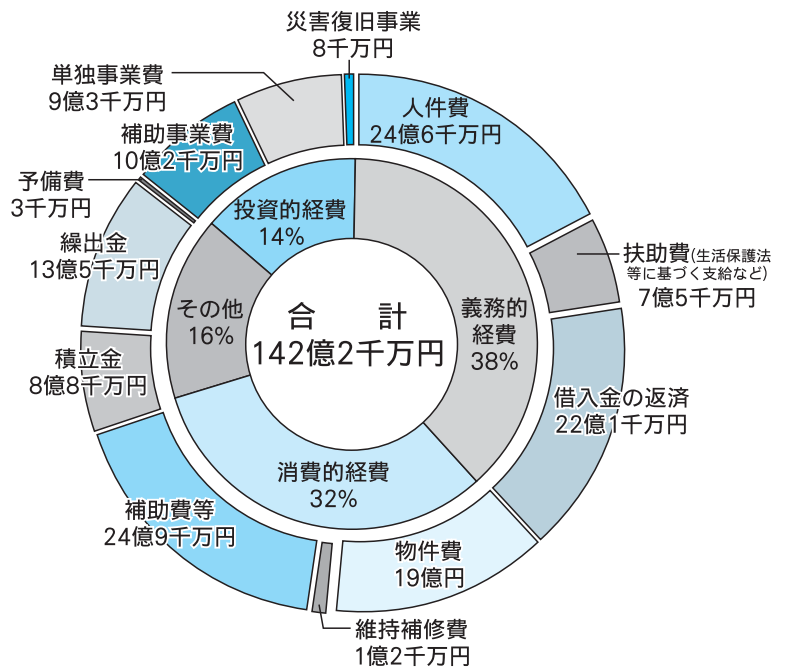
定住促進住宅地造成、高齢者福祉住宅建設など

新しいまちづくりを本格化

一般会計歳入予算の内訳



一般会計歳出予算の内訳



【特別会計】

(金額は1万円未満切り捨て)

国民健康保険	29億291万円
老人保健	2億7,880万円
後期高齢者医療	3億120万円
農業集落排水	7億3,273万円
公共下水道	18億3,866万円
地域し尿処理	5,073万円
簡易水道	2,438万円
介護保険	24億1,078万円
町立診療所	1億3,991万円
ケーブルテレビ	13億5,387万円

【事業会計】

水道事業	13億4,022万円
富來病院	14億4,228万円

(以上 全員賛成)

町の主な事業を行う一般会計は、総額で142億2000万円、対前年比24億7000万円の減、伸率でマイナス14・8%となりました。

これは、大規模償却資産の減価による固定資産の減収や老人保健から後期高齢者医療制度への転換、統合中学校及びシヨートステイの建設事業が昨年ピークであったことなどによるものです。

(全員賛成)

総額対前年比40億円の減

新しいまちづくりと地域の活性化に向けて

復興事業

能登半島地震の復興事業費関連は、昨年度に引き続き、災害復旧工事を計上し、解体家屋の運搬や処分に係る経費を町が負担します。

また、被災者が住宅を再建するための金融機関からの借入金の利子の一部を助成する利子補給金や、みなし全壊した家屋の世帯への災害見舞金も計上しました。

ケーブルテレビ

天候や地域に左右されずに安定して鮮明に、地上デジタル、BS、CS放送などの多チャンネル放送や町の自主制作番組が視聴でき、かつ、高速でインターネットが利用でき、併せて、良好な音声で防災行政放送が聴取できる環境整備を行います。

今年秋頃には、町内全地区で全てのサービスの提供ができる予定です。

幹線町道整備

既存市街地の再生を目指し、高浜町地区で福野神代線今市橋の架替工事の橋梁上部の整備、富来地頭町地区では、快適な生活環境の向上を図るため、道路の整備と一体化した市街地再生事業を行います。



定住促進事業

末吉・米浜地内に、若者定住を主眼とした住宅地造成工事に着手し、21年度にかけて、住宅地の造成及び防災公園を整備し、併せて志賀消防署、備蓄倉庫、消防訓練棟、消防団訓練用地などを含んだ防災拠点施設の整備を行います。

高齢者福祉住宅

高浜町地内に高齢者が活き活きと生活ができる高齢者福祉住宅を整備します。

住宅12戸をリースで建設し、20年度中の完成を予定しています。

住環境整備

農業集落排水・公共下水道事業では、管路工や処理場建設、機械・電気設備などの整備、地域し尿処理施設整備事業は、合併処理浄化槽の設置など、快適な住環境を目指し、下水道事業を推進します。

コミュニティバス



昨年10月から試験運行した富来地域のコミュニティバスが4月1日から本格運行します。

少子化対策

深刻化する少子化について、チャイルドシート購入助成、第3子以降の出産祝金や定住促進事業の一環として小・中・高校入学時の祝い金の助成を行います。



子育て支援

乳幼児・児童に係る医療費は、義務教育終了までの期間、自己負担金を無くして全額助成します。

どう生かす 大切なお金

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会（松浦恒義委員長、富澤軒康副委員長）を設置し、審議しました。

一般会計

問 修繕工事を計上しているが、小学校の再編整備はどうか。

答 安全面を考慮した工事を計上した。志加浦、堀松小は避難所の要素もあり診断を行う。

検討委員会の答申を基本に総合的に判断し進めたい。



問 個人町民税の5・8%の伸びは何か。

答 税源移譲に伴うものと北陸電力原子力本部の移転により、人数の増加によるもの。

問 線上償還について、国は財政状況の良い市町は希望する満額を認めないと聞く。1億5千万円余りの償還額は希望額か。

答 希望額である。

問 地籍調査は、あと何年で完了するのか。

答 志賀地域はあと3年程度、富来地域は今後15年程度で完了したい。

問 富来高校国際コースへの補助金は適正か。

答 義務教育でないが、国際感覚を身につけるため効果がある。



問 高齢者福祉住宅の土地取得費が計上されているが、都市計画エリア内に町有地はなかったのか。

答 高齢者が対象であり、買い物や診療所に近く、使われていない土地を選定した。適当な町有地がなかった。

問 富来地頭町の都市計画道路に調査費が計上されているが見直しは。

答 県へは着工を要望している。9月頃までに基本方針を決め、地元と協議したい。

問 乳幼児・児童医療助成で、医療機関に一旦、支払いをしない方式がとれないか。

答 県の委託金がなくなり、財政的な負担増が予想される。

問 ふれあい事業の実績は。

答 仲人奨励金は18年度1組、19年度5組である。

問 郡市広域圏の常備消防の負担金が昨年度に比べて減額なのは。

答 羽咋消防署の耐震事業の完了、消防車等の購入の減による。

問 町には富来病院があり、広域圏への羽咋病院負担金は必要か。

答 合併を機に見直しを協議したが、旧志賀町分ということになった。羽咋病院ができるときに負担割合を決めた経緯がある。



特別・事業

問 下水道の接続率は。志賀地域の農業集落排水、公共下水道で66・8%。富来地域で50・3%である。

問 介護保険料の今後の見直しは。

答 毎年10%程度の伸びであったが、今年度は1%程度で試算している。

問 ケーブルテレビは、4月1日の段階で何世帯が見られるのか。

答 電柱の添架が若干遅れている。試験放送しながら、順次進めたい。

問 ケーブルテレビの年間の通常経費はどうか。

答 単純に直接、間接費を含め、概ね9千万円で、単年度黒字になればと思っている。



少子化対策 子育て支援

チャイルドシートの購入助成を始め、第3子以上の子が小・中・高校入学時に祝い金10万円を支給、義務教育終了まで医療費を全額負担し、子育てを支援します。

予算額合計 6,919万円

クローズアップ

新年度予算一般会計 142億円の使い方

一般会計の主な事業

ハード事業

赤崎漁港海岸高潮対策事業	5,441万円
領家漁港整備事業	4,662万円
町道改良舗装事業	1億5,000万円
まちづくり交付金事業 (高浜地区・地頭町地区整備、定住促進住宅地造成、高齢者福祉住宅建設、防災拠点施設整備)	9億9,634万円
富来小体育館改築工事等	2億2,000万円
旧志賀中学校解体工事	5,000万円
地区公民館改修事業	6,726万円

ソフト事業

乳幼児・児童医療費助成事業	5,479万円
チャイルドシート支援事業	330万円
少子化対策事業	1,110万円
次世代育成助成事業	405万円
障害者自立支援給付事業	2億7,334万円
健康増進事業(がん検診等)	3,677万円
能登半島地震被災者再建支援事業	500万円
能登半島地震廃棄物処理事業	1,195万円
商工業活性化事業	965万円
地域交流型合宿等助成金交付事業	215万円
企業誘致対策経費	1億672万円
外灯管理修繕費	2,100万円
文化振興特別事業(志賀を描く美術展、全国子ども版画コンクール補助等)	926万円

放課後子どもプラン

放課後に学校の余裕教室などを活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施します。

予算額 131万円

郷土芸能育成

郷土芸能の継承、育成のための支援を行います。太鼓の購入など。

予算額 524万円



観光地魅力アップ

世界一長いベンチの改修を2カ年でを行います。今年は全長430mのうち、約半分を改修します。

予算額 534万円



中学校部活動

生徒の体育・文化面の向上、部活動の育成を図ります。

予算額 705万円



魚のいない水族館 取り壊し



廃止して取り壊すことになった「魚のいない水族館」。8年度には入館者が12万人を超えたが、19年度には6千人まで減少し、目的を終えたと判断した。

平成7年に旧富来町で観光の起爆剤として建設されました。
平成8年度には、入館者数が12万4千人、8970万円の売り上げがあり、町名を全国に知らしめ、町の活性化に寄与しました。
営業開始から11年が経過し、入場者の減少および設備の故障など、今後運営を検討する際に、多額の費用が予想され、施設の当初の目的、役割を果たしたと判断して取り壊すことにしました。

(全員賛成)



地震で被災した富来女性センター

建設から22年が経過し、老朽化が著しく、能登半島地震により被災し利用できなくなったことから、廃止することとしました。

(全員賛成)

◆ 条 例

魚のいない水族館を
廃止

富来女性センターを
廃止

3月定例会は、3月4日から19日まで16日間の会期で開かれました。
町長から提案された一般会計142億2千万円、10特別会計および水道会計、富来病院会計を含めた総額270億円余となる20年度各会計予算案のほか、条例の制定や改正、補正予算などの42議案を審議し、すべて全会一致で可決しました。

**情報発信体制の一元化・高度情報化を推進
情報推進課を設置**

ケーブルテレビの開局に伴い、町の行政情報発信体制の一元化・高度情報化の推進を図るため、監理課を廃止し、情報推進課を設置しました。

(全員賛成)

町職員の自己啓発休業条例を制定

職員が自発的に大学等に修学または国際貢献活動のために、職員としての身分を保有しつつ、職務に従事しない休業制度を設けました。

(全員賛成)

4月から後期高齢者医療制度がスタート

4月1日から施行される後期高齢者医療制度に関係して、保険料の徴収などの町が行う事務を定めました。

(全員賛成)

町長の専決処分事項の指定

議会の権限に属する事項中、法律上、町の義務に属する損害賠償の額を定めることについて、1件100万円以下のもについて、町長の専決処分としました。(全員賛成)

指定管理者

とぎ実験農場の指定管理者に公共施設等管理公社

4月1日から指定管理者制度を導入することとし、財団法人志賀町公共施設等管理公社を指定しました。

(全員賛成)



とぎ実験農場

請負契約・変更

ケーブルテレビをデジタルハイビジョン仕様に変更

ケーブルテレビ整備工事(施設装置設置工事)

放送のデジタル化、ハイビジョン化、地上デジタルの普及という時代の潮流に対応するため、番組送出に係る設備をデジタルハイビジョン仕様に変更し、今後の住民ニーズに応えます。1億8732万円を増額し、契約金額を、14億1897万円としました。パナソニックSSエンジニアリング(株) (全員賛成)

公共下水道富来浄化センター土木・建築工事

流入管布設箇所の地下水位が高いため、工法の変更および敷き鉄板の増工に714万円を増額し、契約金額3億4944万円。南建設(株) (全員賛成)

19年度各会計別補正後の総額

一般会計	169億2,350万円	
国民健康保険	30億71万円	
老人保健	30億1,958万円	
農業集落排水	11億1,221万円	
公共下水道	21億3,813万円	
地域し尿処理	9,115万円	
簡易水道	8,154万円	
介護保険	24億5,966万円	
町立診療所	1億4,001万円	
ケーブルテレビ	22億3,356万円	
水道	収益的収支	6億4,879万円
	資本的収支	6億2,593万円
病院	収益的収支	14億6,129万円
	資本的収支	1億1,970万円

**平成19年度 補正予算
一般会計
9,209万円減額**

19年度一般会計補正予算は、事業の精算見込みに伴うものであり、各種事業の減額分を財政調整基金や特別財政基金の積み立てに充て、歳入歳出それぞれ9209万円を減額補正し、総額169億2350万円とした。

(全員賛成)



打合せをする情報推進課員。ケーブルテレビの開局に伴い情報発信体制の一元化・高度情報化を推進するため設置された。

総務

委員長	越後	敏明
副委員長	松浦	恒義
委員	田中	正文
〃	寺岡	真貴子
〃	櫻井	俊一
〃	山本	辰榮

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。3月定例会開会中の主な審議内容を報告します。

ケーブルテレビ 広告・宣伝放送の考えは

- 問** ケーブルテレビ施設条例にある広告・宣伝放送について考えはあるのか。
- 答** 基本的には要望があれば放送することになるが、番組審議会で判断する。
- 問** ケーブルテレビの加入申し込みは順調か。
- 答** 現在、仮申込書の集計をしている。ある程度集計して申し込みのない方については直接説明する予定。加入促進を図る。

- 問** 職員給与費の一般財源に占める割合が今後増加すると思うが、人員の見直しの考えは。
- 答** 定員適正化を進めている。また、19年度より職員互助会への補助は廃止した。
- 問** 学校給食負担金の減額の理由は何か。
- 答** 能登半島地震により、半壊以上の住家の方に減免したため。

教育民生

委員長	橘	照茂
副委員長	戸坂	忠寸計
委員	下池	外巳造
〃	須磨	隆正
〃	林	一夫
〃	稲村	幸雄



生活習慣病の温床である「メタボリックシンドローム」(内臓脂肪症候群)に照準を合わせ、20年度から国民健康保険や健康保険組合に、扶養家族を含む40歳以上の健康診断が義務付けられた。「要治療」と診断されれば受診を、予備軍には食事教室への参加など生活習慣の改善を促す。

メタボ健診 町の対応は

- 問** 4月から生活習慣病の特定健診・保健指導について、メタボリックシンドロームに対応しようということだが、町はどのようなことを行うのか。社会保険に加入の場合。
- 答** 加入している医療保険者が実施する。国民健康保険の加入者には、町が行う。
- 40歳から74歳まで特定健診で保健指導ということになるが、個別と集団を予定。
- 健診の方法は、64歳までは医療機関で健診してもらう。65歳以上は集団で行い、各公民館等で今までどおりのような実施となる。

富来地頭町の都市計画減額の理由は

産業建設

委員長	富澤 軒康
副委員長	南 政夫
委員	小田 芳治
〃	辻 武美
〃	久木 拓男
〃	木村 正



都市計画道路富来地頭町線。町も県と一体になって事業を進めてほしい。

問 富来地頭町の県営都市計画街路整備事業負担金減額の理由は。

答 19年度に計画書を策定する予定だったが、当初予定まで事業ができなかった。県も検討に時間がかかり、20年度で検討を行う。

町としても早く事業に取り掛かってほしいと要望している。

問 若者定住促進住宅や高齢者福祉住宅を建設するが、富来地域にも造成を含め建設を願う。

答 需要があるかを調査し、需要があれば対応していきたい。

問 とき実験農場の指定管理者は、民間会社が行うことになるのか。

答 今回は町の公共施設等管理公社で行い、町全体の指定管理者の更新の時に改めて検討する。

第1回臨時会 (2月12日)

第1回臨時会では、簡易水道特別会計補正予算、工事請負契約の変更2件の議案3件が審議され、いずれも全会一致で可決しました。

◆簡易水道特別会計補正予算 (第5号)

農業集落排水事業で地震による新たな被災箇所が発見され、水道管移設の必要が生じたため。

270万円増額
総額8154万円

◆赤崎漁港海岸高潮対策

工事
事業推進のため離岸堤

8mを増工。957万円増額し、契約金額1億1226万円。寺井建設(株)。

◆町居地区管路災害復旧

工事
新たな被災箇所が確認されたため、延長155mを増工。700万円増額し、契約金額5773万円。
石田工業(株)

議員の一言コーナー

限界集落

近年、限界集落という言葉をよく耳にする。集落の65歳以上の人口割合が50%を超えた状態を言うそうだ。

このような状態となった集落では、古くからの共同作業もさることながら、これらを通じて培われてきた地域のコミュニティも失われ、ムラが衰退し、やがては消滅し

ていくそうである。

先日、我が集落でも恒例の江堀が行われ、徐々に老若男女が集い、和気あいあいと作業を進めたものの、その顔ぶれは変わらず、高齢化の一途を垣間見た。

我が町の多くの集落は、戦後の成長期までは、専業、兼業であれ、一次産業の農業に何らかの形で携わり、先人から受け継がれた美田を守り、自然と調和のとれた集落が

形成されていた。

しかし、急速な産業構造の変化により、後継者のほとんどは、一・三次産業に従事する一方で、特に、ここ数年の米価の下落が農地を含めた土地の資産価値を下げ、農地離れ、集落離れに拍車がかかっている。

「ころばぬ先の杖」10年後を見据えた議論を始める時がきた。

(辻 武美)

志賀原発2号機 運転再開の是非を協議

議会全員協議会
3月16日

運転再開を了承



北陸電力には徹底した 安全管理を

低圧タービン羽根損傷のトラブル後、1号機の臨界事故隠ぺいが発覚し、平成18年7月から停止中の志賀原発2号機について、3月14日、北陸電力から県・町に対し、運転再開の申し入れがありました。

当議会では3月16日の日曜日、議会全員協議会を開催し、北陸電力から、再発防止対策の報告、起動協議の申し入れに対する説明、国からは保安検査結果について報告を求めました。

説明の後、細川町長から協議の申し出があり、2号機運転再開の是非を協議しました。

議員からは「もう後は無い」という厳しい意見もあ

りましたが、北陸電力の再発防止策、耐震安全性への取組を評価して、運転再開については全員が了承し、細川町長に伝えました。

今後、徹底した安全管理をすることが絶対的前提であり、何より住民の不安のないように運転を望むものです。

議会では住民の安全・安心を第一に再開後も厳しく監視していきます。

町政を問う！

一般質問

志賀原発運転再開 機は熟したのでは 的確に判断したい

町長は運転再開について、「信頼は数字でなく心の問題」と言っていたが、その心はもう熟している時期にあると思うが、町長の考えは。

原子力発電所の大前提は、「安全の確保」と「住民の安心」であるが、今後は北陸電力にしっかりと安全に運転してもらい、真の信頼回復は、その姿を町民に見てもらう事が重要ではないか。

北陸電力から2号機再起動の申し入れは、現段階では受けていないが、申し入れがあれば、議会の意見を踏まえ、町民の理解を得た上で、国、県と連携しながら、速やかに、的確に判断したい。

我々自身も志賀原発を視察し、北電の安全性に対する取り組みを確認した。

松浦 議会では、北陸電力および国の関係機関から、再発防止対策の進捗状況、志賀原発の耐震安全性について、説明、報告等を聞いてきた。



松浦 恒義 議員

町長 私も再発防止対策検証委員会の一員として、北陸電力が「隠さない企業風土づくり」「安全文化の構築」を目指して、全社一丸となって取り組み、相当な進捗及び定着が図られつつあると大いに評価している。



(写真上) 運転停止中の志賀原子力発電



(写真左) 議会では北陸電力の安全性に対する取り組みを随時確認してきた。原子力発電所緊急時対策室を視察する議員。

町高校教育活性化 検討委員会は解散か

任務は果たし、一応の区切り



富澤 軒康 議員

富澤 私も町高校教育活性化検討委員の一人として、統合高校の方向性、位置及び名称、形態、学級編成を取りまとめた。骨格はでき上がったが、魅力ある高校を作るにはといったような具体的な内容については、突っ込んだ話し合いがなされなかった。

検討委員会は答申をまとめたということで、これで解散ということか。

町長 検討委員会の答申の高校の方向性や学級編成等の文言の中には、魅力ある学校づくりの骨格への思いが十分反映されていると考えている。

基本的な任務は果たしており、一応の区切りと

思っている。

富澤 統合高校は高浜高校を使用するが、県は本来に耐震工事およびある程度のリニューアルをしてくれるのか。

町長 県へ要望している。実行するように今後

富澤 今年度、町は富来・高浜高校へかなりの金額を補助しているが、新志賀高校となった時には、どうなるのか。

町長 地域で育てる学校としての考え方を大切に、県の役割や町の支援効果、行財政改革の取り組み等を総合的に勘案しながら、振興支援策について検討したい。

富澤 生徒の通学または活動の送迎、通学費負担の問題はどうなるのか。

町長 県に対し、保護者の通学費負担の軽減、スクールバス導入による通学の利便性の向上と学習や部活動など諸活動充実を要望している。最善の支援策を講ずるよう働きかけたい。



写真は高浜高校。答申では、統合高校の名前を「志賀高校」、位置を現在の高浜高校、学級編成を普通科3学級、総合学科1学級とすることなどが提案された。

富澤 定員割れの最大の原因と考えられる町外の進学の流れをどのように把握しているのか。

教育長 最近の町内の生徒の志望校選択の流れは、主に次の3点。

①生徒や保護者は大学などへの進学のため、普通科志向が強く、町外に

ある進学実績のある高校を志望する。

②高校卒業後、就職を希望する生徒は、商業系への志望が多く、工業系は少ない。また、保育士、看護師、介護福祉士、パ

③定員数の減、定員割れにより生徒数が減少し、両校の懸命な努力にも関わらず、学校に対するイメージ、魅力が十分には伝わらない。

富澤 どのように、生徒を地元に残めるのか。

教育長 ①新しい学校づくりに強い情熱と使命感を持ち、指導力を発揮できる管理職と優秀な教員、および部活動指導に堪能で情熱溢れる教員の配置。

②県が要望書に基づき、早急に志賀高校の理念や具体的な教育内容を策定し、高校、町が連携して、町内外に魅力ある情報を発信し、理解を広げる行動を起こすこと。

③魅力ある学校にするため、高校と町が連携を密にしながら高校の振興、支援を含め、学校づくりの在り方や取組状況について、協議検討する体制の確立。



寺岡真貴子議員

厳しい財政状況 町長の認識は 後に負担を残さないように

寺岡 19年度末見込の単純計算で、町民一人当たりの借金は135万円。財政健全化計画が示す通り、本町の財政状況は厳しい。町長の認識は。

町長 計画では、23年度から基金を繰り入れて予算を編成しなければならず、その基金が27年度には底をつく。合併特例の財政支援も27年度から段階的になくなる。

他市町に比べ電源立地に伴う恵まれた交付金・税収入があるが、経常経費の削減を事業を取捨選択しながら物件費や補助費、普通建設事業の抑制を図って基金を積み立て、後に負担を残さないようにしたい。

寺岡 20年度も町政懇談会を開催するのか。開催するならば、その際に財政状況を説明すべきだ。

町長 10月頃に開催したい。その際、町財政の現状も十分お知らせしたい。

高齢者住宅 今後の方針

活き活き暮らせる環境 づくりを推進

寺岡 高齢者福祉住宅の内容は。高齢者住宅は今後も必要になると思うが、今後の方針は。

町長 65歳以上で、収入月額が12万3000円以下の方および地震によって自立で生活再建できな

い方を対象とすることを基本に、20年度早々に入居条件を取りまとめる。今ケースをモデル事業

として、高齢者が活き活き暮らせる環境づくりを推進したい。



今後、高齢者の住宅需要が多くなることは必然的であり、高齢者のニーズに対応した住宅施策を望む。

寺岡 限界集落の状況はどうなっているのか。支援のあり方を検討すべきではないか。

町長 昨年11月時点で、138集落中14集落が限界集落。集落の線引きやどういった支援が可能か大変難しい問題なので、区長会等と相談したい。

寺岡 ニュータウン計画の詳細・条件面を明らかにし、PRを進めるべきだ。

町長 6月頃には造成工事に着手する。分譲価格・方法や購入者に対する奨励金制度等の条件は検討中で、できるだけ早く決定したい。

寺岡 雇用促進住宅が15年以内に廃止されるが、町の方針は。

町長 雇用振興協会から譲渡の打診があったが、多額の財政負担が予想され、購入は困難と回答してきた。

先般、20年度末までに譲渡希望の回答がなければ住宅を廃止すると通知があり、現在協議中。

寺岡 21年4月の公営住宅法改正により、民間賃貸住宅や特定公共賃貸住宅より家賃が高くなりかねない。具体的対策は。

町長 新基準では、収入超過世帯が大幅に増加する。暫定的に激変緩和措置を講じながら、県の指導の下、応益係数を見直す等の対策を講じていきたい。

寺岡 住宅に関する諸課題について、現状を正確に把握し、総合的な計画を策定すべきだ。

町長 各課の連携・協議は不可欠。策定に係る準備委員会を発足させ、多くの関係者の意見を取り入れ、町の考え方を一元化してから住宅マスタープランを策定したい。

あの質問のゆくえ

今回、「あの質問のゆくえ」として、一般質問の提言などが町政にどのように反映されているのかお知らせします。

質問 小・中・高校に AED の設置を。 平成 19 年 6 月定例会

町内公共施設にも徐々に設置されているが、人が多く集まる施設、スポーツ施設はもとより、小・中・高校にも設置を。

町長答弁

順次、配備したい

役場、支所、保健センターほか、高浜高校、富来高校など 7 箇所に設置されている。直ちに公共施設全てに配備するというわけにはいかないが、学校等各施設内での必要性を考慮しながら、順次配備を検討したい。

どうなった

20 年度は志賀・富来中学校に配備

20 年度は志賀・富来両中学校に配備する予定。順次、検討しながら配備する。

自動体外式除細動器（AED）は、心臓の心室細動の際に電気ショックを与え（電氣的除細動）、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。



質問 総合窓口の時間延長を 平成 18 年 6 月定例会

庁舎総合窓口や図書館の施設の利用時間を延長できないか。町民から、土曜半日の業務や図書館等の施設の利用時間延長を望む声があるが。

町長答弁

前向きに取り組みたい

総合窓口業務は、平日の時間延長が良いのか、休日の開催が良いのか、近隣市町の調査等もして前向きに検討したい。図書館は夕方の利用者は少なく、合併後、第 3 日曜日と祝日の開館を実現し好評である。

どうなった

試行結果により方向性を決定

総合窓口では、19 年 4 月から 12 月の期間、金曜日のみ 19 時まで時間延長。20 年 1 月から 3 月の期間は、土曜日の 9 時から 12 時 30 分まで休日開催を試行してきた。

20 年度は当分の間、土曜日の 9 時から 12 時 30 分まで休日開催を試行して、試行結果により方向性を決定したい。

ダンスグループ 「きらきらkids(キッズ)」

志賀町から元気を届けよう！

今回は、町内の小学生で構成されるキッズダンスグループ「きらきらkids」を訪ね、ダンスを指導するシ・オンのエター山口 京(みやこ)さんにお話を聞きました。



山口 京さん
(高浜町)

◆このグループは、いつ頃結成しましたか。きっかけは。
◇昨年10月です。地震などで元気がなかったこの地域に「志賀町から元気を届けていこう」と結成しました。



お揃いのユニフォーム姿で

◆グループの構成は。
◇4月現在、28人が在籍。学年別では、1年生が3人、2年生4人、3年生3人、4年生2人、5年生10人、6年生6人です。

学校別では高浜小16人、志加浦小8人、加茂小2人、土田小2人です。



◆目標と指導方法は。
◇見ている人に元気と笑顔を届けることを目標にしています。
「踊って・感じて・氣付けて・変わる」をキャッチフレーズにダンスを通して礼儀や生活態度なども指導しています。
きらきらkidsの5つのルール
「時間や約束を守ろう」「いつも笑顔でいよう」「どこでも元気にあいさつをしよう」「正しく優

しい言葉を使おう」「背筋を伸ばしてキビキビ動こう」が実行できる子供達になってもらいたいです。
◆今後、どのような活動を企画されていますか。
◇土田子供太鼓とのコラボレーション。5月3日には午後2時からアリス館で舞台があります。また、敬老会、夏の盆踊りへの出演などを予定しています。

第19回志賀町「富来を描く美術展」北國新聞社賞の作者に聞く!

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。

昨年の11月には第19回の審査が行われ、次の方、北國新聞社賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。



山本 修 さん
(富山県高岡市)

作品名「潮風の中で」



何度も見た風景なのに、今年は暑さのせいでしようか、白い灯台がまるで海に向かい立つ凜とした貴婦人に見えました。
描き直し、描き直して出品させていただきました。入賞でき大変嬉しく思っております。

私たちの議会傍聴記

ふるさとを愛し
ふるさとに活躍する
人の育成を願って



小島 史子 さん
(富来領家町)

富来領家町の「むつみ会」では6年前から年一回の町議会傍聴を続けてきました。

今回の最初の質問は、志賀高校開設に関する事でした。富来高校創成期に生徒の一人であった私は、良き師と良き友達に恵まれ、楽しい充実した高校生活を送ることができたので、今後の高校再編の動きには、内心、歯ざしりする思いで、その動向を見守ってきました。

新しく生まれることになった志賀高校には、ふるさとを愛し、ふるさとに根付いて暮らし、ふるさとに活躍する若き人の育成に全力を注いでいただきたい

と、議員の質問と教育長の答弁を聞きながら強く思いました。また、町の財政の根幹に関する女性議員の質問に対して、町長の真摯な態度の答弁があり、やや安堵させて頂きました。

もっと多くの議員の
声を聞かせて欲しい



田上 洋子 さん
(牛ヶ首)

久しぶりの議会傍聴でしたが、私達のほかに沢山の方が傍聴され満席状態でした。

また志賀原発の運転再開の質問があるためか、報道陣の多さに驚きました。

今、私達の一番の関心事は原発の再稼働です。もうその時期かなと思いますが、百パーセントの安全・安心は絶対なく、必ず想定外の事態が発生すると思

いますので、議会には引き続き厳しい目に対応していただきたいと思います。

そのほか、高校再編問題、住宅政策と質問は続き、特に住宅政策では一人の議員さんで十項目以上の質問があり、その熱意さに関心しました。

今回の一般質問者は三人でしたが、今後はもっと多くの議員さん達の声を聞かせて欲しいと思います。

傍聴におこしく下さい

議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞きできます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 橋 照茂 |
| 副委員長 | 田中 正文 |
| | 越後 敏明 |
| | 富澤 軒康 |
| | 櫻井 俊一 |
| | 戸坂忠寸計 |